

**2011年11月改訂(第4版)
*2008年3月改訂

貯法	できるだけ湿気避け、直射日光のあたらない涼しい場所に保管のこと。開封後は特に湿気避け、フタをよく閉める等取扱いに注意のこと。
----	--

使用期限：外箱・容器に表示

日本標準商品分類番号	
875200	
承認番号	(61AM)4407
薬価収載	1987年10月
販売開始	1987年10月

漢方製剤 (当帰芍薬散)

太虎堂の当帰芍薬散料エキス散

*〔組成・性状〕

本品7.5g中

日局トウキ …………… 3.0g 日局ブクリョウ …… 4.0g
日局センキュウ …… 3.0g 日局ビャクジュツ … 4.0g
日局シャクヤク …… 6.0g 日局タクシャ …… 4.0g

上記生薬より抽出した水製乾燥エキス5150mgを含有する。
添加物として日局乳糖水和物、日局ステアリン酸マグネシウムを含有する。

性状：本品は淡茶色～茶色の散剤で、特異なおいがあり、味はわずかに甘苦い。

識別コード：Tsu TM-23P

〔効能・効果〕

比較的体力が乏しく、冷え症で貧血の傾向があり疲労しやすく、ときに下腹部痛、頭重、めまい、肩こり、耳なり、動悸などを訴える次の諸症：月経不順、月経異常、月経痛、更年期障害、産前産後あるいは流産による障害（貧血、疲労倦怠、めまい、むくみ）めまい、頭重、肩こり、腰痛、足腰の冷え症、しもやけ、むくみ、しみ

〔用法・用量〕

通常成人1日7.5gを3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

〔使用上の注意〕

1. 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）

- (1) 著しく胃腸の虚弱な患者〔食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、腹痛、下痢等があらわれることがある。〕
- (2) 食欲不振、悪心、嘔吐のある患者〔これらの症状が悪化するおそれがある。〕

2. 重要な基本的注意

- (1) 本剤の使用にあたっては、患者の証（体質・症状）を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
- (2) 他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。

**3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。

	頻度不明
過敏症 ^{注1)}	発疹、痒痒等
肝臓	肝機能異常(AST(GOT)、ALT(GPT)等の上昇)
消化器	食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、腹痛、下痢等

注1)このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。

4. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

5. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊娠中の投与に関する安全性は確立していないので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。

6. 小児等への投与

小児等に対する安全性は確立していない。〔使用経験が少ない〕

*〔包装〕

500g、2.5g×84包、2.5g×252包

****〔文献請求先〕**

太虎精堂製薬株式会社 薬事情報部
〒651-0076 神戸市中央区吾妻通2丁目1番27号
TEL (078) 232-1015 FAX (078) 232-1077